

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年12月16日(2010.12.16)

【公表番号】特表2010-508249(P2010-508249A)

【公表日】平成22年3月18日(2010.3.18)

【年通号数】公開・登録公報2010-011

【出願番号】特願2009-533741(P2009-533741)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/198	(2006.01)
A 2 3 K	1/16	(2006.01)
A 6 1 K	47/18	(2006.01)
A 6 1 K	47/02	(2006.01)
A 6 1 K	47/12	(2006.01)
A 6 1 K	47/20	(2006.01)
A 6 1 K	47/22	(2006.01)
A 6 1 K	31/381	(2006.01)
A 6 1 P	21/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/16	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	39/06	(2006.01)
A 6 1 P	25/14	(2006.01)
A 6 1 P	11/06	(2006.01)
A 6 1 P	19/08	(2006.01)
A 6 1 P	19/10	(2006.01)
A 2 3 L	1/305	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/198	
A 2 3 K	1/16	3 0 1 D
A 6 1 K	47/18	
A 6 1 K	47/02	
A 6 1 K	47/12	
A 6 1 K	47/20	
A 6 1 K	47/22	
A 6 1 K	31/381	
A 6 1 P	21/00	
A 6 1 P	25/16	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	39/06	
A 6 1 P	25/14	
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	19/08	
A 6 1 P	19/10	
A 2 3 L	1/305	

【手続補正書】

【提出日】平成22年10月26日(2010.10.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

炭酸ナトリウム／炭酸水素ナトリウム、リン酸ナトリウム／リン酸水素ナトリウム、L-リシン／L-リシンナトリウム塩及びL-アルギニン／L-アルギニンナトリウム塩の群から選択されている、弱酸及び相応する塩基からなる組み合わせからなる、pH値8.0～12.0に調整する緩衝系を付加的に含有することを特徴とする、クレアチン成分を含有する調製物。

【請求項2】

クレアチン成分が、クレアチン、クレアチニン水和物及び／又は少なくとも1種の塩、付加化合物及び／又は錯体化合物であることを特徴とする、請求項1記載の調製物。

【請求項3】

少なくとも1種の塩、少なくとも1種の付加化合物及び／又は錯体化合物が、リンゴ酸、アスコルビン酸、コハク酸、ピルビン酸、フマル酸、アスパラギン酸、グルコン酸、-ケトグルタル酸、シユウ酸、ピログルタミン酸、3-ニコチン酸、マレイン酸、硫酸、酢酸、ギ酸、リン酸、塩酸、2-ヒドロキシ安息香酸、-リポ酸、L-カルニチン、アセチル-L-カルニチン、タウリン、ベタイン、コリン及びメチオニンからなる群から選択されていることを特徴とする、請求項2記載の調製物。

【請求項4】

緩衝系の割合が、この組成物の全質量に対して、0.1～90.0質量%であることを特徴とする、請求項1から3までのいずれか1項記載の調製物。

【請求項5】

調製物が付加的に、1種のナトリウム塩又は数種のナトリウム塩又はこの混合物を含有することを特徴とする、請求項1から4までのいずれか1項記載の調製物。

【請求項6】

1種のナトリウム塩又は数種のナトリウム塩又はこの混合物が、塩化ナトリウム、硫酸ナトリウム、酢酸ナトリウム、クエン酸ナトリウム、グルコン酸ナトリウム、アスコルビン酸ナトリウム、パントテン酸ナトリウム及び乳酸ナトリウムからなる群から選択されていることを特徴とする、請求項5記載の調製物。

【請求項7】

1種のナトリウム塩又は数種のナトリウム塩又はその混合物の割合が、この調製物の全質量に対して、0.1～75.0質量%であることを特徴とする、請求項5又は6記載の調製物。

【請求項8】

炭水化物、脂肪、アミノ酸、タンパク質、ビタミン、鉱酸、微量元素並びにその誘導体及び混合物からなる群から選択されている更なる生理学的に活性のある化合物を含有することを特徴とする、請求項1から7までのいずれか1項記載の調製物。

【請求項9】

更にグアニジノ酢酸及び／又は-リポ酸を含有することを特徴とする、請求項1から8までのいずれか1項記載の調製物。

【請求項10】

緩衝系が、pH10.0～11.0に調整することを特徴とする、請求項1から9までのいずれか1項記載の調製物。

【請求項11】

固体又は水性であることを特徴とする、請求項1から10までのいずれか1項記載の調製物。

【請求項12】

水性の調製物が、この組成物の全質量に対して、0.01～14.0質量%の固体物含有量を示すことを特徴とする、請求項1から11までのいずれか1項記載の調製物。

**【請求項 1 3】**

パウダー、顆粒、トローチ、カプセル、タブレット、溶液、ジュース及び／又はゼリー製品として存在することを特徴とする、請求項 1 から 1 2 までのいずれか 1 項記載の調製物。

**【請求項 1 4】**

( a ) 請求項 1 から 3 までのいずれか 1 項に定義されるクレアチン成分を準備する工程、( b ) 請求項 1 、 4 又は 1 0 のいずれか 1 項に定義される緩衝系を組み込む工程、及び( c ) 場合により、請求項 5 から 7 までのいずれか 1 項に定義された 1 種のナトリウム塩又は数種のナトリウム塩又はその混合物、請求項 1 0 に定義される生理学的に活性のある化合物、及び／又は請求項 9 に定義されるグアニジノ酢酸及び／又は - リポ酸を添加する工程、を含む、請求項 1 から 1 3 までのいずれか 1 項記載の調製物の製造方法。

**【請求項 1 5】**

請求項 1 から 1 3 までのいずれか 1 項記載の調製物並びに場合により少なくとも 1 種の医薬的に許容可能な担体及び／又は助剤を含有する、医薬組成物。

**【請求項 1 6】**

栄養サプリメント剤、飼料及び／又は飼料添加剤としての、請求項 1 から 1 3 までのいずれか 1 項記載の調製物の非治療的な使用。